

広報 ごじょうめ

発行 五城目町役場 ☎01885 ② 2100 (代)
☎018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎01885 ② 2430
毎月1日・15日発行 一部 35円

考えてみたい主食の座



稲の姿を形成できなかった稲穂／富津内上山内

被害戦後最大

この広報紙上に昨年も同じような写真でトップを飾った記憶がある。冷害の二年ないし三年連続は昔から言われてきたところであるが、それを裏付けるかのようになり、今年もまた昨年に続いて冷害型となり、稲の被害は記録的なものになった。

農業共済組合に届けられた三〇以上の被害面積は五一七〇で引受総面積の三四割となり、共済金の支払い額は一億三千五百万円はくだらないだろうとみられている。今まで、最も被害の大きかった昭和三十八年の被害面積でさえも四七〇で、今年の面積にはおよばない。農業共済組合創立以来の被害となった。

自然の恐ろしさ

豊作の条件の一つに積算温度がある。早生種は九五〇度から一〇〇〇度、中晩生種は一〇〇〇度から一〇〇〇度が必要といわれる。今年の場合、十月中旬で一〇〇〇度を突破しているの、豊作の条件は満たされた感じであるが、六月・八月の急激な冷え込みが稲の稔りをストップさせてしまったとみられており、細くやせた青米の多出がその間の事情をよく物語っている。農家は農業のプロとして、冷害をのりこえる稲作の管理技術を会得すべきだとする意見に異論はないが八月二十三日の一時間台風、そして自然がもたらす冷気に技術以前の恐ろしさを感じられてならない。

浸される主食の座

「米を減らせ」「米をつくるな」政策を展開したのは一九七〇年からである。以来十年間減反の嵐は吹き荒れたままである。

人口は着実に増え続けているのに、米の消費は着実に減り続けている。米の消費減の経済的背景は、戦後の食糧不足時代にさかのぼらなければならない。敗戦の虚無感にひたり、インフレーションと食糧危機の大混乱のさ中に、米国は援助の名のもとこの機会をとらえて便乗、日本人の胃袋に大量の小麦粉を流しこんだ。ある協会には億単位の援助をし、全国津々浦々までキッチンカーを走らせ、小麦粉の宣伝にこれ努めたやがて学校給食はパンに征服され、主食の座はしだいに小麦粉に浸食されてきた。米国のネライとするところであった。始めの援助は市場確保の捨て金でもあったわけである。

ある大臣が「食食もいまは糖尿病という時代であるから、食糧の心配はいらない」と言い切った。穀物自給率三三割、先進工業国では最低。日本人がいざというとき必要な潜在生産力は二千三百万トンといわれるが、今米の潜在生産力は千二百万トンに落ちこんでいるとか。大臣の発言といい生産力の落ちこみといい、主食に対する敵しさが欠けている。今年、稲作をみて、私たちお互いにじっくりと主食の座について考えてみたいものだ。

産業文化祭

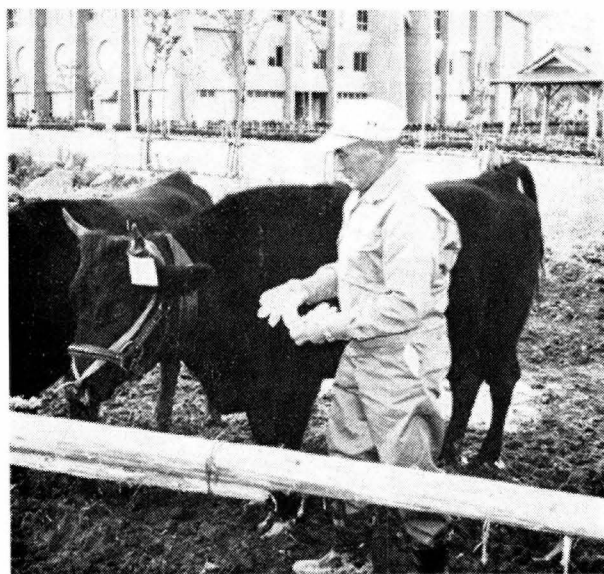
出品総数は千四百点

農産物も昨年とほぼ同じ

十月三十一日から農協会館など町内の三会場で行われた産業文化祭は、最終日の十一月四日、広域体育館で出品展示物の褒賞授与式を行い、優秀な二百点を表彰した。この中で特に優れた四十三点には、秋田県知事賞などが贈られた。

出品総数は千四百点で、昨年とほぼ同じであった。特に今年は低温、長雨と天候が不順で、農産物の出品数が減少すると心配されていたが、昨年より五点少なくはなかったとどまった。その品質は生産者の努力の跡が見られ、悪条件を克服したりったものばかりであった。

農産物の出品数は昨年を上ま



秋田県知事賞に輝いた「とよ子号」と武田さん

▲集落農場褒賞▼

優良賞

黒土集団栽培組合 安田鶴治

▲複合経営農家褒賞▼

優秀賞

稲十和牛 石井金治郎 小倉

▲農産の部▼

優秀賞

秋田県知事賞 水稲 アキユタカ

本間 吉金 館越

優秀賞

昭和農業改良普及所長賞 りんご スターキング

一関 勇一 久保

優秀賞

秋田県農業協同組合中央会長賞 セリ 改良小倉

石井 邦憲 小倉

優秀賞

秋田県知事賞 大豆 シロセンナリ

鳥井 市朗 上樋口

優秀賞

秋田県農業協同組合中央会長賞 しいたけ 鷲谷 智樹 谷地中

優秀賞

秋田県知事賞 葉たばこ パーレー21

猿田 兼夫 樋口

優良賞

りんご ふじ 一関 忠久 保

白菜 オリンピア 斉藤 正美 館越

セリ 改良小倉 石井久美雄 小倉

キャベツ 本間金之助 館越

優良賞

昭和農業改良普及所長賞 株大豆 シロセンナリ

猿田 兼夫 上樋口

優良賞

なめこ 加藤 光儀 石崎

葉たばこ パーレー21

猿田 豊和 樋口

奨励賞

りんご ゴールデンデリシャス

白菜 大関 喜正 久保

大根 青首総太 門前

秋田県知事賞

秋田長大根 小玉 千々 高田

ネギ・キャベツ 雪みどり

本間 悦子 館越

長いも 本間 ミツ

キャベツ 深みどり

セリ 改良小倉

千葉 博一 小倉

カリフラワー 本間ミネ子 館越

ネギ 改良秋田 渡辺 良太 新畑町

ホーレン草 アトラス 本間凱之助 館越

株大豆 シロセンナリ 齊藤 鴻司

小豆 縮岡カネノ 下高崎

しいたけ 石井 キヌ 黒土

花菊 田中 洋一 乙市

葉たばこ パーレー21

猿田 ヤエ 樋口

加工品 しめなわ 館岡 春二 下高崎

▲商工の部▼

優秀賞

秋田県知事賞 天然秋田杉 天井板

加賀谷木材(株) 昭辰町

フアンシーグレイ三点 猿田 敏雄 田町

総桐 中洋タンス 石井 力蔵 一番町

猫間障子 小玉建具店 田町

手桶 金子喜三郎 中川原

優良賞

秋田県商工会連合会長賞 杉 磨床柱

加賀谷木材(株) 昭辰町

優良賞

秋田県知事賞 秋田杉 天井板

優良賞

秋田県知事賞

優良賞

佐藤銘木

本ウルシ塗 古部

優良賞

秋田県商工会連合会長賞 総桐タンス 中洋

優良賞

秋田県知事賞 杉飾棚 木工興真

優良賞

秋田県工業協同組合連合会長賞 中タンス 齊藤 政作 新畑町

優良賞

書院 長谷川建具店 畑町

書院障子 佐藤信建具店 川原町

優良賞

秋田県新報社長賞 フラワーボックス

優良賞

目黒 義克 黒土

箸置 山平 富子 新町

優良賞

秋田県商工会連合会長賞 栗そだち 伊藤幸太郎 田町

優良賞

秋田県知事賞 地存鎌 五城目鍛冶協同組合

奨励賞

櫛型総桐タンス 阿部 勲 田町

櫛型総桐タンス 木工興真

立長タンス 齊藤 次男 新畑町

座卓 原田源次郎 古川町

秋田杉 棚

伊藤忠次木工所 雀 館

優良賞

秋田県商工会連合会長賞 飯ずし桶 坂谷 俊一 畑町

奨励賞

秋田県商工会連合会長賞 色紙掛 やよい

目黒 育夫 黒土

奨励賞

思い出 金子喜三郎 中川原

ツボ 土器 佐藤チホ 一番町

リーフパイ 渡部 礼治 畑町

省エネストーブ 川村鉄工所 雀 館

トラクター用 作業台

(株) 尾形鉄工所 田町

▲造林コンクール部▼

優秀賞

秋田県知事賞 第3部(25~30年生)

優良賞

工藤 兼一 浅見内

優秀賞

秋田県森林組合連合会長賞 第2部(15~20年生)

優良賞

秋田県森林組合連合会長賞 第1部(8~10年生)

優良賞

秋田県森林組合連合会長賞 第3部 金野盛千郎 平ノ下

優良賞

工藤 勝司 浅見内

第2部 石井兼太郎 平ノ下

奨励賞

工藤 喜悦 浅見内

第3部 小浜 勇

奨励賞

秋田県森林組合連合会長賞 第1部 田仲 鉄己 平ノ下

▲生活工夫展の部▼

○衣類更正・手芸品・改良工夫

普及奨励賞

秋田県農業協同組合中央会長賞 ブラウス 小玉 幸子 黒土

普及奨励賞

家の光協会会長賞 スモックと子ども服上下

小玉 幹子 高田

普及奨励賞

猿田 みち 浅見内

アイデア賞

ブラウスとベストのアンサンブル 渡辺 律子 岡本

オーバーオール

- 仲良しざぶとん 館岡 清子 上高崎
技術賞 伊藤 令子 石崎
グループの活動ウエア 小玉 星子 高田
小物入2点 嶋崎 チョ 下樋口
洋服カバー 大石 ミヨ 下山内
努力賞 シクラメン 石井久美子 門前
子供ジャンパー 千田ヤエ子 小池
刺し子掛け軸 伊藤 チョ 田町
②牛乳料理 普及奨励賞 秋田県知事賞
くず餅 児玉 ヒサ 大川
普及奨励賞 秋田県農業協同組合中央会長賞
だまこもち グラタン 宮川 栄子 帝釈寺
南瓜のクリームスープ 石井 邦子 門前
アイデア賞 赤飯まんじゅう 小野サダ子 岡本
ミルクとろろ 草皆 昭子 帝釈寺
野菜入りカステラ 小玉 星子 高田
とりひき肉の袋づめ 千田美保子 岡本
技術賞 かわり根花餅 小野 セイ 田町
五目入クレープ 石井 チエ 帝釈寺
カスタードあげ 館岡 美代 高崎
はまぐり焼 齊藤 妙子 矢場崎
努力賞 ライスデザイン 石井 絹代 小倉
技術賞 餅詰セツト
- とり肉のクリームコロッケ 小林 律子 下山内
二色ソースのコロッケ 伊藤 洋子 落合
高野豆腐のホワイトクリームか 小川 キヨ 上山内
コロケ 宮城イヨ子 蓬内台
③塩分を控えた漬物 普及奨励賞
ぶどう漬 齊藤 妙子 矢場崎
普及奨励賞 秋田県農業協同組合中央会長賞
大根のぶどう漬 本間 ミツ 館越
アイデア賞 みずの醤油漬 伊藤 洋子 落合
梅漬の汁利用の一夜漬 渡辺 フサ 高田
技術賞 にんにくの花漬 齊藤 妙子 矢場崎
努力賞 大根と黒大豆のすし醤油漬 畠山三枝子 上山内
④手づくりみやげ品 普及奨励賞
秋田県農業協同組合中央会長賞 そばまんじゅう かぼちゃ羊かん 小林 クニ 下山内
普及奨励賞 磯の目焼 千田 カツ 西野
普及奨励賞 秋田県農業協同組合中央会長賞 山の幸 猿田 みち 浅見内
アイデア賞 すまし餅 上山内若妻会
クッキー 渡部 フサ 高田
くず米利用のさだだんご 菊地 純子 館越
技術賞
- すまし餅 渡部ヤス子 高田
カップケーキ 石井 チエ 帝釈寺
カッパケーキ 武田 妙子 高崎
努力賞 だて巻 千田美保子 岡本
ロールケーキ 草皆 芳子 帝釈寺
保存食セツト 大石 ミヨ 下山内
⑤良質米づくりの部 ⑥うまい米づくりの部
優秀賞 秋田県知事賞 ササニシキ 島崎 喜明 大川
優良賞 秋田県産米改良協会会長賞 ササニシキ 一関重四郎 久保
優良賞 ササニシキ 佐藤 博谷地中
奨励賞 ササニシキ 館岡 政美 上高崎
ササニシキ 伊藤 良治 大川
〃 笹川玉之助 下樋口
〃 土づくりの部
優秀賞 秋田県農業協同組合中央会長賞 嶋崎 茂悦 下樋口
優良賞 小玉 俊一 中村
奨励賞 伊藤市太郎 高田
工藤 鉄雄 浅見内
畠山 正一 千日
⑦水田集団転作の部 優秀賞 下樋口転作集団
優良賞 上高崎転作集団
奨励賞 石崎 転作集団
久保 転作集団
小倉 転作集団
⑧繁殖和牛共進会の部 優秀賞 秋田県知事賞
秋田県畜産開発公社理事長賞 黒毛和種 とよこ号
武田 新市 高崎
入選
- 優良賞 秋田県経済農業協同組合連合会長賞 黒毛和種 ふくはる号
賞 黒毛和種 ますこ号
優良賞 秋田中央畜産農業協同組合会長賞 黒毛和種 館岡 重利 高崎
黒毛和種 かはひさ号
小玉 俊一 中村
奨励賞 黒毛和種 とよひめ号
石井 兼夫 中村
黒毛和種 武田 新市 高崎
黒毛和種 ふじひめ号
石井金治郎 小倉
黒毛和種 はるひめ号
猿田 政博 上樋口
黒毛和種 きんひめ号
佐々木勇太郎 恋地
黒毛和種 はるひめ号
佐藤 保昭 中村
⑨発明工夫展の部 (児童生徒) 優秀賞 ぞうきんかけ
加藤 教康 五小6年
大高 仁
優良賞 はいぶつ利用のメモ紙入れ
桜田 瑞子 五小3年
つめきり箱 伊藤 静香 富小2年
奨励賞 タオル利用 (マミーちゃん)
佐藤 敬子 五小5年
たぬきの状さし 伊藤 祐子 富中1年
木の葉のメモ差し 伊藤 幸子 富中1年
⑩文芸作品展の部 入選

- 短歌 折々のうた 伊藤令以子 町村
俳句 秋 鍋谷フクエ 長町
俳句 雲 伊藤 芳穂 町村
夏ころも 齊藤 マサ 畑町
川柳 蝶の舞 一関 鐘一 畑町
不発の愛 鍋谷 福枝 長町
枕とのささやき 本間与四郎 館町
随筆 枕とのささやき 館町
短歌 妻 佐藤 流水 矢場崎
地蔵尊 工藤ミネ子 上田町
俳句 秋 伊藤 雅光 町村
早寝会 本間 艶子 館越
遠哇 大島つむぎ 長町
川柳 雑音 藤原 文田 町
老生 本間 静江 館町
農婦像 草皆 チエ 帝釈寺
詩 二人の道 加藤 フミ 岡本二区
子供らに 鷺谷 凡葉 大川
随筆 息子の手紙 佐藤 栄子 谷地中
- 〇一般団体 優秀賞 富田老人クラブ
下山内老人クラブ
石崎 光風会
優良賞 浅見内連合子供会
浅見内老人クラブ
新町 町内会
畑町 老人クラブ
努力賞 野田 老人クラブ
野田 子供育成会
岡本二区町内会
館越 子供育成会
帝釈寺 帝樹会
四ツ屋老人クラブ
曙町 町内会
曙町 老人クラブ
湯ノ又 第一老人クラブ
黒土 老人クラブ
町村 老人クラブ
奨励賞 富田子供会・PTA
北々口老人クラブ
高千子 子供会
- 最優秀賞 養護老人ホーム森山荘
優秀賞 五城目幼稚園
優良賞 五城目小学校
奨励賞 五城目第一中学校
大川 小学校
馬場目小学校

川をきれいに!!

「川」をきれいにするのはやめましょう



五城目町

特用林産村づくり

林家の定住を図る

町では、昭和五十七年度からの新しい事業として、「特用林産村づくり事業」を計画しています。事業の概要は次のとおりですが、詳しい内容については役場林政課にお問合せください。

事業の必要性とその内容

林業、林産業の担い手を確保し、森林、林業を健全に発展させるためには、定住の最小単位である集落が、適当な間隔で散在している必要があります。さらにその集落は最小限、社会生活を維持できる戸数が確保されていなければなりません。

特用林産村づくり事業（林産集落振興対策事業）は、このような状況に対応するため、林業、林産業が重要な位置を占めている集落

公共職業安定所から
求職受付

木曜日・午前八時四十分

秋田公共職業安定所では、五十六年十二月十四日から五十七年一月十二日まで、求職受付を町村別に曜日と時間を指定して行います。

五城目町在住の方の受付は毎週木曜日の午前八時四十分となります。これは受付時の混乱緩和と保険給付を適正円滑に行うための措置です。また、今年の七月から雇用保険給付事務

▽B型事業

緊急に特用林産の振興が必要な集落などに対し、総合メニューの中から事業種目を選び、生産基盤の整備、共同利用施設の導入などを行います。

事業費 一集落平均 一千万円
補助率、実施主体、実施期間はA型事業と同じ。

総合メニュー

①樹林造成事業

(イ)きのこ原木林、竹、桐、ウルシ、栗、はぜ等の新植、改良補植、保育

(ロ)山菜、薬草等の栽培地造成、発生源整備等

(ハ)草地の造成、改良、放牧地の整備等
(ニ)調査、測量、展示樹林の新植、改良、補植、保育

②作業道整備事業

(イ)作業道の開設および改良等

(ロ)林道の開設および改良
(ハ)連絡道、牧道、広場、給排水施設等

③ほだ場等整備事業

(イ)ほだ場造成、取水堤、用排水路の整備等
(ロ)苗畑造成

(ハ)ほだ場整備、用排水施設の整備等

(ニ)山菜園、花木園、家畜飼育実習場、学童きのこ園造成等

④生産出荷施設事業

(イ)きのこ栽培出荷施設、しいたけ乾燥出荷施設、山菜栽培出荷施設等

(ロ)高齢者の生産活動に必要な、きのこ栽培出荷施設
(ハ)造林施設、育苗施設、素材生産施設、畑作物等生産出荷施設

国税だより

年末調整

サラリーマンの給与についての所得税は、毎月の給料やボーナスが支給されるときに源泉徴収されることになっています。

しかし、一年間の給与総額に対する年税額と給料やボーナスから源泉徴収された所得税額とは、一

致しないのが普通です。

このため、その年最後の給料やボーナスが支払われるときに、その差額を清算します。

年末調整では、扶養控除や配偶者控除、生命保険料控除、二年目以降の住宅取得控除などが行われます。これらの控除金額は、サラリーマンのみならず勤労先へ提出する各種申告書や証明書で計算されますので、誤りのないよう申

告してください。

なお、大部分のサラリーマンは年末調整することでの年の納税が完了しますが、①災害や盗難にあつて雑損控除が受けられる人②多額の医療費を支払っているため医療費控除が受けられる人③今年初めて住宅取得控除が受けられる人などは、確定申告が必要です。詳細は最寄りの税務相談室や税務署におたずねください。

赤い羽根共同募金
二百二十万円の善意

十月一日から全国一斉に始まった赤い羽根共同募金は、十一月六日に当町分の集計が完了し、目標額を上まわることが得られました。

今年度の募金実績額は、二百二十万三千九百七十七円で、目標額の二百八万四五百を十二万三千五百七十七円上まわりました。

募金の内訳は次のとおりです。

△街頭募金	五二、七一九円
△法人以外の団体	二七、一三五円
△職域募金	三六、八一三円
△個人大口募金	五一、六〇〇円
△高額寄付者（千円以上）	
昭辰町	加賀谷力司 六千円
希望ヶ丘	佐藤 成孝 三千円
黒土	伊藤 静雄 一千円
脇乙	伊藤 次郎 一千円
一番町	猿田 成三 一千円
旭町二区	佐藤 テル
矢場崎	長谷川次郎
仲町	藤田 ミエ
今町	小森繁三郎
古川町	藤本 正善
伊藤	富司 一千六百円
尾形	勇蔵 一千三百円
笹尾	知 一千六百円
渡辺	兵衛 三千五百円
長谷川三男	一千五百円
秋山	三男 一千円
一関	勝己
牧野	一夫 三千円
菊地	ユキ
佐々木春雄	

生垣の造成奨励金

申請はお済みですか

町では毎年、生活環境の緑美化を促進するため、生垣の造成に奨励金を交付しています。

今年、生垣を造成した人は、役場保健衛生課に奨励金の申請をしてください。町が定めた基準に適合していれば、生垣一メートルにつき五百円の割合で奨励金を支給します。申請に必要な書類は保健衛生課にあります。

今年度の交付申請は一応十二月いっぱいまで締め切りますので、該当する人はお急ぎください。



猟銃の取扱いは慎重に

矢先の安全を必ず確認

十一月十五日から狩猟が解禁になりました。

昨年、県内で三件の猟銃事故が発生し、三人がけがをしています。その原因は矢先の安全確認でした。初心者には獲物を見かけると矢先の安全を確認しないで、あわてて発砲することが多く、狩猟経験

が浅いために、気持ちゆとりのない行動が目立ちます。経験者の場合は、銃の取扱いに

▽狩猟に出かけるときは：

・銃の機能点検を励行する

・銃を携帯運搬するときは、たまに込めないで銃袋やケースなどに入れておく

・銃は必ず手もとにおく

▽狩猟をするときは：

・銃口を絶対に人に向けない

・発射の必要なときまでは、銃に

年賀状の差出準備を

早めに

年賀状の準備はもうお済みですか。

あて名を書いたり、印刷したり、版画を作ったりするのに、意外に時間がかかるものです。特に年末は何かと忙しくなります。早めに年賀状を作成し、十二月十五日の引受開始日には差し出せるようにしたいものです。

年賀状を作成する場合、次の点に注意してください。

・あて先の住所には、アパート(団地)名、棟番号、室番号や「×様方」、「△△ビル」などの

マを装てんしない
見通しのきかない場所では、水平撃をしない
発射する前には、必ず矢先の安全を確認する
・猟場を移動するときはタマを抜く

・グループで猟をするときは、お互いの存在を確認し注意しあう
・疲れたときは猟を中止する
・猟を終えたら残弾の有無を確認する

・銃口の異物(雪・木の葉など)に注意する

税務情報

個人事業税二期の納期限は

11月30日

秋田県税事務所

個人事業税二期の納期限は十一月三十日です。

納税通知書が届きましたら十一月三十日までに最寄りの銀行、信用金庫、郵便局、農協または秋田県税事務所へ納付してください。

不明の点、納税相談については秋田県税事務所へお問合せください。

直税課 0188 (60)
2321、納税課 0188 (60) 2313

募集

県行政書士試験

▽試験の日時・場所

①日時 昭和56年12月6日(日)

午前9時から午後3時まで
②場所 秋田市山王四丁目一番号
秋田県庁正庁

▽受験資格

①学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校を卒業した者、その他同法第56条第1項に規定する者

②国または地方公共団体の公務員として行政事務を担当した期間がこれを通算して3年以上になる者

③行政書士、弁護士、公認会計士、税理士の補助者として、その事務を直接補助した期間が通算して3年以上になる者

④司法書士、社会保険労務士、土地家屋調査士の資格を有する者

⑤公法上の法人(公社、公団、公庫、土地改良区等)もしくは、各種協同組合またはこれらに準ずる法人において行政事務に準ずる事務に従事した期間が通算して3年以上になる者

⑥旧中4卒、または旧中5卒の者

▽受 付

①受付期間

昭和56年11月6日(金)から昭和56年11月21日(土)まで
(郵送の場合は11月21日までに必着のこと)

②受付時間

午前8時30分から午後5時まで
(土曜日は正午まで)

③受付場所

秋田市山王四丁目一番号
秋田県総務部地方課

れる者

▽願書受付

昭和57年2月10日

2月27日(必着)

※詳しくは、次のところへ郵送料(百七十円)同封のうえ「昭和57年度学校案内」を請求してください。

〒987-122

宮城県東原郡築館町

字秋沢土橋26

宮城職業訓練短期大学 学生課

電話 0228222081

自治医科大学

▽応募資格

高等学校を卒業した者および昭和57年3月卒業見込みの者またはこれと同等以上の学力があると認められる者

▽定 員 百名

▽学生募集要覧の交付場所

秋田県福祉保健部医務課

〒010秋田市山王四丁目1番1号

電話 0188(60)1366

▽出願書類の受付

57年1月8日～1月16日

後期農外訓練生

▽訓練科名・訓練定員・実施期間

建築科 10人

鹿角高等職業訓練校

12月7日～3月15日

溶接科 15人

秋田高等職業訓練校

11月17日～2月25日

塗装科 10人

本庄高等職業訓練校

12月10日～3月19日

ブロック建築科 15人

大曲高等職業訓練校

12月14日～3月13日

▽申込み期間

実施開始日の前日まで

▽募集定員

生産機械科、金属成形科、電気科、建築科、塗装技術科

各科 30名

▽応募資格

学校法による高等学校を卒業した者(昭和57年3月卒業見込みの者を含む)またはこれと同等以上の学力を有すると認めら

※農作業等の関係で訓練開始日までに入学できない方は相談に応じますので、入学希望の訓練校に相談してください。

全県中学校新人卓球大会

圧倒的な強さの五一中(男)

個人優勝も猿田の手中に

秋田県中学校新人卓球大会は、十月二十四日、二十五日、秋田市県立体育館で行われ、五城目第一中学校の男子チームは圧倒的な強さで優勝した。また、個人戦でも同校の猿田選手が優勝した。

団体戦は二十四チームが参加して行われ、五城目一中は二勝し、一位の成績で決勝トーナメントに進出した。試合内容は秋田北中、増田中を3対0のストレートで破る快勝であった。

決勝トーナメントに入っても、猿田選手をはじめ各選手の活躍はめざましく、決勝トーナメント三試合とも3対1で、五番手の選手の結果を待たずに勝負を決めた。個人戦では、五城目一中の猿田選手が優勝、初戦から決勝まですべて2対0のストレート勝ちであった。同選手はこの大会で団体戦も含めて、全試合をストレート勝ちという快挙をやつてのけた。



全県制覇をなしとげた五一中卓球部の選手たち

▽団体決勝トーナメント準決勝

・五一中 3-1 大曲西中

猿田 2-0 深谷

富樫 2-0 高橋

渡船 0-2 伊町

工藤 2-0 大槻

▽同決勝

・五一中 3-1 神代中

猿田 2-0 大石

富樫 2-0 大山

渡船 1-2 三浦

工藤 2-0 田口

▽個人戦準々決勝

猿田 2-0 根岸(神代中)

▽同準決勝

猿田 2-0 伊藤(大曲中)

▽同決勝

猿田 2-0 大山(神代中)

水沢チームが初優勝

三浦 二度目の区間ラップ

全町町内対抗伝大会は十一月一日午前九時半から、雀館線を利用した特設コースで行われ、水沢チームが上山内チームを二秒差でおさえ初優勝した。また、個人では四十歳以上の部で三浦金市さん(上高崎)が、三十歳未満の部で宮崎博之さん(町村)が昨年に続いて区間ラップをとった。

四回目を迎えた今年は、雀館運動公園を回るコースから、雀館線を往復するコースに変更になったが、距離は変わりなく一周千五百メートル、一チーム五人の選手がそれぞれ一周した。参加チームは昨年より四チーム多い二十七チーム



水沢チームはゴールで上山内チームをぬく

で、肌寒い天気の中、二組に分かれてタイムを競った。

二組に出場した水沢チームは、ゴール前で上山内チームをぬぎ、観衆のどよめきの中でゴールし優勝した。一組でトップの成績だった浅見内チームは三位に終わった。

三浦金市さんの出した四十歳以上の区間ラップは、三十歳代のラップタイムに一秒差という好記録であった。三浦さんは昨年も区間ラップをだしており、自分のもつ記録を六秒縮めた。

また、宮崎博之さんも昨年に続いて三十歳未満の区間ラップをとったが、タイムは昨年と同じ四分六秒。

優勝	水沢	24分30秒
準優勝	上山内	24分32秒
三位	浅見内	24分39秒
四位	町村	24分51秒
五位	上高崎	24分53秒
六位	落合	25分22秒

森山登山競技

11月3日

▽一般男子団体
①馬場目走友会 24分41秒

①松橋嘉名子(五城目)	4分6秒
②畑沢百合子(〃)	4分8秒
③小林美咲子(〃)	4分9秒
④石井淑子(〃)	4分21秒
⑤一関かよ子(〃)	4分24秒
⑥畑沢聖子(〃)	4分28秒

▽中学校女子個人

三十歳未満	4分44秒
宮崎 博之(町村)	4分6秒
三十歳代	4分43秒
伊藤 青春(田町)	4分43秒

▽中学校男子個人

①一関 勇向(五城目)	10分34秒
②佐々木 栄(羽城)	10分45秒
③鈴木 忠洋(〃)	10分56秒
④小玉 勇樹(五城目)	11分7秒
⑤石井 永郎(〃)	11分9秒
⑥菊地 治(〃)	11分10秒
四十歳以上	17分52秒
三浦 金市(上高崎)	17分46秒
四十歳未満	17分42秒
五十歳以上	16分42秒
五十歳未満	16分16秒
五十歳以上	16分00秒
五十歳未満	16分00秒

▽中学校女子団体

①五一中陸上	24分30秒
②五一中籠球	24分57秒
③五一中野球A	25分51秒
④五一中野球B	25分51秒
⑤五一中籠球A	26分28秒
⑥五一中陸上A	26分44秒

▽中学校男子団体

①羽城 中A	24分30秒
②五一中野球A	24分57秒
③五一中野球B	25分51秒
④五一中籠球A	25分51秒
⑤五一中野球D	26分28秒
⑥五一中陸上A	26分44秒

▽一般男子個人

①下間 幸政(男鹿)	27分21秒
②驚谷 信広(五城目)	29分45秒
③本間 敬悦(〃)	35分50秒
④館岡 敦(〃)	43分16秒

▽一般女子個人

①羽城亀の子チーム	27分53秒
③五城目町農協	30分52秒

広報文芸



昭和56年度秋田県歌人懇話会

全県短歌大会出詠作品

(五城目短歌会関係分)

石川やす子選佳作

慣れてゆくことは恐ろし休耕田今をさかりに秋
草の花 齊藤 諒一

秋田県歌人懇話会賞

髪飾る白詰草の草匂う子と相席す無人駅より
ふるさとの渚歩めば亡き父母も海鳴り遠き日も
蘇る 伊藤チヨエ
荒れ乱吹(ふぶ)く人影もなき工事場に赤きラ
ンブの点滅つづく 松橋正之助

俳句 黛吟社 十一月号

名月に農を生き継ぎ餅供う
しづかさを杜に籠らし月昇る 佐藤 羊村
月影をふんで踊子帰りけり 安田 龍泉
絵葉書に短かき旅情秋の月 三浦 夢月
月の波わけゆく夜釣の舟一ツ 三浦 緑葉
夕月や磯松の根に波が乗る 石井 溪堂
踊り果て素顔にかえる盆の月 小松 孤松
一人寝の千々の思いや月明り 小林 与根
今日植えし木に名月の影ありぬ 北島 緋佐子
月澄むや孤独あらわに夜勤帰路 北島 温石
三姉妹古城の唄を月の秋 伊藤 芳穂
三日月を見んと誘わん人あらば 高橋 梨邨
生きていて亡き母遠く盆の月 齊藤 諒一
隣りより回覧来ていし月の土間 石井 進
萩芒見事に供へ月を待つ 佐藤 流水
干し南瓜月出てまるき影となり 伊藤 碧山
月賞めるひと聞ひと間の宿の声 本間 米吉
山の端にくれゆく月を惜みけり 猿田 天鳴
当宿の机の端に秋冷える 田中 芳朗
世の不況なげが如し山の月 伊藤 正蔵
草皆 茂樹

川柳 すずむし 十月号

課題 「力」
一輪車押して夫婦の坂を越え

佐々木敏子

大国の力バツハ 平和論
逆境に負けぬ男にある力
力縮持たぬ日蔭のもやしっ子
腕角力孫の成長たのもししい
権力と札束理性を攻めてくる
子をかばう母の力の大きかり
ちくり刺す針の力思い知る
どん尻の力走惜しみない拍手
無気力を励ます妻と子の寝顔
耐えがたい力を知っている奥歯
青春は力まかせを武器とする
金という力まことに強いもの
学力の差だけしよっぱい汗を吸う
力なら負けぬ無学の腕っ節

佐藤 貞
松田ウタ子
鍋谷 福枝
佐藤はる江
一関 北柳
草皆 チェ
中川 貞子
福島 ミツ
渡辺 松風
渡辺 寒坊
渡部 光人
渡部 姚子
細田 陽炎
渡辺 銀雨

婦人会川柳クラブ 十一月例会

宿題 「赤字」

累積の赤字が揺れる社長座
火の車まるい灯へ置く共稼ぎ
逆境の赤字に負けぬ神を乗せ
赤字だけ目につく暮れの請求書
北国に情知らずな灯油高
成長期母の財布を困らせる
国鉄の事故また事故で増す赤字
やりくりの使い上手な妻の知恵
赤字への対策早寝すると決め
家計簿の赤字に潜む酒の量
算盤をはじく赤字の手がふるえ
流行を追えば赤字が追いかける
夫婦独楽赤字を埋める明日がある

佐藤 貞
一関 北柳
松田ウタ子
佐々木敏子
佐藤はる江
八木下みき
福島 ミツ
平川みつえ
渡辺 銀雨
藤原 文
草皆 チェ
納谷 喜代
鍋谷 福枝

五城目短歌会 九月例会

カセットをかけて唄きく吾が家の縁は明るし秋
の日射しに 田中 芳朗
赤とんぼに憩う二つ三つそよ吹く風 飯塚定四郎
れつつ 涼風まとも
ひまわりも咲きし日ざかり通いくる 伊藤チヨエ
に強飯をたく 齊藤 諒一
そこにのみ安息の世界ある如し夕風に手柴にゆ
る山籬 工藤 留治
生きる児を身ごもる亡妻(つま)に託しつつ征
きしも遠き夢の又夢

カメラリポート

自慢の味を交換しあう

紀久栄町町内会でつけ物コンクール

紀久栄町町内会では、十月二十
五日午後一時から同町内の集会所
で、つけ物コンクールを行い、自
慢の味をお互いに交換しあいまし
た。
会場には色とりどりのつけ物が
並べられ、審査は出品者がお互い
に試食して行われました。出品さ
れた十二品の中からみごと一位に
選ばれたのは、畠山タミエさんの
当座づけで、畠山さんにはカップ
が贈られました。二位は谷地三知
子さんの即席づけ、三位は小玉ア
ツ子さんの保存づけでした。
このコンクールは、今回が初め
での試みでしたが、出品しない人
もたくさん試食に訪れ、参加賞は
ダイコン二本というたいへん楽し
いものでした。



小倉では毎日セリの収穫が行われています

せりの出荷最盛期

小倉せり組合から秋田市へ毎日

なべ物のシーズンを迎えて、小
倉せり組合では、せりの収穫と出
荷におわれています。
小倉部落の農家十五戸が、組合
を作ってせりの栽培を始めたのは
昨年のことでしたが、今では日曜
日を除く毎日出荷しています。
一時期、一束二百五十グラム、
六十円以下だった値段も、需要が
多くなるにしたがって安定し、百
円以上で取引されるようになり
ました。需要の最盛期に入り、毎
日百キロ前後を秋田市の市場に卸
しています。
せりは選別に手間がかかり、水
が冷たくなるときつい作業になり
ます。部落を流れる小川では、お
ばあさんたちが、根を洗ったり、
枯葉をとったりする光景が毎日の
ように見られます。



テーブルにはいろいろなつけ物が並べられました

12月 ごみ収集日

町内名	56年 12月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ケ野	1	7	12	18	25	
新里	1	7	12	18	25	
希望ヶ丘	1	7	12	18	25	
田町	1	7	12	18	25	
上田町	1	7	12	18	25	
今田町	1	7	12	18	25	
御蔵町	1	7	12	18	25	
小池町	1	7	12	18	25	
新川町	1	7	12	18	25	
新番町	2	8	15	20	26	
古川町	2	8	15	20	26	
紀久栄町	2	8	15	20	26	
中川原町	2	8	15	20	26	
館町	2	8	15	20	26	
岩城町	2	8	15	20	26	
築地町	3	10	16	22	27	
畑町	3	10	16	22	27	
新畑町	3	10	16	22	27	
矢場崎	3	10	16	22	27	
仲町	5	11	17	23	30	
長町	5	11	17	23	30	
米沢町	5	11	17	23	30	
雀館	5	11	17	23	30	
昭辰町	5	11	17	23	30	
大川一区	5	11	17	23	30	
〃二区	5	11	17	23	30	
〃三区	5	11	17	23	30	
〃四区	5	11	17	23	30	
馬場目	4	14	24			
富津内	4	14	24			
内川	4	14	24			
大川(本村以外)	9	19	29			
馬場目	9	19	29			
馬場目	9	19	29			

休み 6日・13日・21日・28日・31日

< 直接搬入料 >

2トン未満積車	1回につき	6000円
2〜4トン未満	1回につき	9000円
4トン以上	1回につき	13500円

※ 収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日表を必ず見るようにしてください。

焼却場にゴミを直接搬入する場合は、直接搬入券が必要です。この搬入券は、焼却場入口にある館岡商店(電話2-3367)で売っておりますのでご利用ください。

▽参加者
県内小、中学生、高校生、学校教育・社会教育関係者、「小さな親切」運動会員、新生活運動関係者、各団体企業関係者、その他一般

▽申込み
所属および氏名を11月21日まで「小さな親切」運動秋田県本部



老人ホームに
寄せられた善意

・十月二十四日
慰問

小野恵子創作バレエ研究所
(八郎湯町)

小さな親切運動

県民のつどい

▽日時 11月28日
午後1時30分〜3時

▽会場 秋田銀行本店 10階大会議室
(秋田市山王三丁目2-1)

▽参加者

県内小、中学生、高校生、学校教育・社会教育関係者、「小さな親切」運動会員、新生活運動関係者、各団体企業関係者、その他一般

▽申込み

所属および氏名を11月21日まで「小さな親切」運動秋田県本部

▽日 程
11月30日 五城目 面湯地区
12月1日 馬場目・内川 地区
富津内・大川 地区

▽受付時間 午後1時〜2時

▽場所 広域体育館予備室

寄生虫卵集団検査

町では寄生虫予防対策の一環として、虫卵の絶滅をはかるため五

五城目地区

三種混合予防接種
11月30日・12月1日



勤労感謝の日
11月23日

【おしらせ】

三種混合予防接種

11月30日・12月1日

ジフテリア、百日咳、破傷風三種混合予防接種の三回目を行いますので、対象になっているお子さんは必ず受けてください。

▽対象
・昭和53年9月1日から54年8月31日までの出生者
・昭和52年9月1日から53年8月31日までの出生者で、一回接種または未接種者

▽注意事項
・問診用紙は必ず記載し、母子健康手帳といっしょに持参すること
・当日、会場に来る前にお子さんの体温を測定し、健康状態を確かめておくこと
・お子さんの健康状態に不安がある場合は、保健衛生課へ電話で問合せること

城目地区を対象に寄生虫卵集団検査を行います。
対象は十六歳以上のの人となっていますので、五城目地区のみならずは忘れずに検査を受けてください。検査料は町で全額負担しますので無料です。

▽日 程 配 佈
回 収 12月1日
12月8日

(検査用紙に町内名、世帯主名、氏名を必ず記入すること)

全国婦人教育交流集会

国立婦人教育会館では、全国婦人教育交流集会の参加者を募集しています。

この集会は、婦人を取りまく今日の課題、特に高齢化社会に焦点をあて、今後の取り組み方について意見を交換するものです。

▽期 日

職業訓練生の募集

秋田天王総合高等職業訓練校では、五十七年度訓練生を募集しています。

▽応募資格

昭和五十七年三月新規中学校および高等学校卒業見込みの者または義務教育修了以上の学力を有し、健康で職業訓練受講意志の強い者

昭和57年2月18日〜20日 (2泊3日)

▽場 所 国立婦人教育会館
埼玉県比企郡嵐山町
大字菅谷七二八番地

▽募集人員 成人男女百人

▽申込締切 11月30日

※詳しいことは、国立婦人教育会館事業課(電話0493-6216711)におたずねください。

▽応募期限 11月30日

▽手 続
入校願書を各学校長を通じ、職業訓練校が公共職業安定所へ提出する。

▽定 員

・普通訓練課程(二年コース)
機械科(機械専攻) 20人
機械科(仕上専攻) 20人
板金科 20人
電気工学科 15人
自動車整備科 20人
能力再開訓練課程
(一年コース)
機械科(仕上専攻) 10人
配管科 20人
電気工学科 15人
自動車整備科 10人
塗装科 20人

▽問合せ先

秋田天王総合高等職業訓練校
電話0188(73)3177

婦人会の資源リサイクル

婦人会のリサイクル運動が全町を対象にして次の内容で行われます。

▽期 日 十一月二十七日

▽種 類

古布(厚い毛布とワタを除く)古紙、びん、鉄屑

◎当日指定の場所へ出すように用意をしておいてください。詳細は各支部長におたずねください。

便利な電話の展示会

五城目電報電話局では、国際障害者年の一環として、福祉電話を中心にした展示会を開きます。会場には各種の便利な電話が展示されるほか、試用もできます。

▽日 時

11月21日 午後1時〜5時
11月22日・23日 午前9時〜午後5時

▽場 所

五城目町下町 長谷川宅
(和田家具店となり)

事務局(秋田市山王三丁目2-1)
1、秋田銀行本店業務部内 電話0188-6311212